

介護事故他

発生日	発生部署	性別	年齢	介護度	事故の区分	不適合の内容	改善計画・対策
H26.4.20	豊後3階	男	93	5	骨折事故	夕方の栄養接続時に抵抗があり、右腕をあげたところ右肩の骨にヒビが入る	①骨折の危険性が非常に高い方と認識し、極力二人介助で対応する。身体に触れる介助を行なう際は、慎重かつ安全に施行し、関節等を動かす場合は特に注意する。 ②同様の危険性がある方について部署職員間で検討し、個別ケア記録を残すことで、モニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行なう。
H26.5.16	豊後3階	-	-	-	車輛事故	駐車場から車をバックで出す際、柱にぶつけてしまった。	①慣れない車の運転操作は、冷静かつ慎重に行う。エンジンを掛ける前に周りの障害物をチェックし、車の長さや幅を充分認識した上で、目視、ミラー確認しながら最徐行で発進する。少しでも不安を感じた場合は、その場で一旦停車し、車から降りて安全を確認する。 ②出発時は時間や気持ちに余裕が無い為、スムーズに発進できる様、車はバックで駐車する。 ③鍵置き場と鍵に車名を表記し、車の使用時以外、常に鍵を同じ場所で保管する。
H26.5.23	5丁目1番館	女	91	2	骨折事故	ズボンを履く際、バランスを崩して転倒し骨折。	①生活全般について自立の方に関しては、精神状態の変化で転倒等のリスクも変化する事を念頭にし、状態に応じた声かけや見守りを実施する。
H26.5.27	豊後2階	女	88	3	骨折事故	車椅子からベッドへ移乗時、両脇を抱えた時に鈍い音がし痛みの訴えあり。	①自分のできる範囲の事は自分でしてもらい、移乗介助時は、ズボンを支える程度にて援助し、危険の無い介助を行う。 ②同様の危険性がある顧客について、部署職員間で検討し個別ケア記録を残すことでモニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行う。
H26.6.24	豊後2階	女	81	4	骨折事故	血圧測定時、左腕を浮かせた時に可動域が広がり、脱力感あり。	①看護職員へ確認し、上肢は拘縮が強い為、下肢(ふくらはぎ)で血圧を測定する事を徹底する。身体に触れる介助を行う際は、慎重かつ安全に施行し、関節などを動かす場合は特に注意する。 ②同様の危険性がある方について部署間で検討し、個別ケア記録を残すことで、モニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行う。
H26.7.3	豊後3階	女	88	5	骨折事故	オムツ交換の体位交換時に右腕に負荷が掛かり、骨折。	①加齢と共に進行する関節可動域制限や、拘縮、骨粗鬆症について十分理解し、適切な介助方法の検討を行う。 ②同様の危険性がある方についても、職員間で検討を行ない、個別ケア記録を残すことで、モニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行う。
H26.7.13	2丁目1番館	-	-	-	物品破損事故	PHSを足浴器に水没させてしまった。	①PHSを保持する際は落下防止クリップを使用し、後ろポケットに入れる事で落下・水没を防止する。 ②毎月の部署会議時にPHSの取り扱いについて進捗状況を確認する。

介護事故他

発生日	発生部署	性別	年齢	介護度	事故の区分	不適合の内容	改善計画・対策
H26.7.19	豊後3階	女	88	5	骨折事故	ベッドから車椅子への移乗時、右大腿部に負荷が掛かり骨折。	①医師の指示を仰ぎ、適切な介護を提供する。 ②部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行う。
H26.10.24	4丁目2番館	女	99	4	骨折事故	排泄介助や体位交換、ベッド上でのギャッジアップ時に負荷が掛かり、左大腿転子下骨折。	①骨折のリスクがある顧客については、個別ケア記録の危険性に随時記録を残し、その改善策をサービス計画に挙げてリスクの軽減に努め、類似の事例発生予防に努めていく。 ②改善計画の実施及び再発防止策の取り組みについての進捗状況を部署会議時に検証し、確実に実施出来ているか継続的に確認しながら取り組んでいく。
H26.11.17	豊後2階	女	88	3	骨折事故	移乗介助時、負荷が掛かり胸骨骨折。	①移乗時は必ず自分でベッド柵、介助バー、車椅子の肘掛、ソファの肘掛等に掴まってもらい自分のペースで立ち上がり、ズボンを支える程度にし、ほぼ自力で行ってもらう様にして脇は危険な時以外は支えない。完治してもバスバンドは常時使用する。 ②同様の危険性がある顧客について、部署職員間で検討し個別ケア記録を残すことでモニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施できているか、継続的に確認しながら取り組んでいく。
H26.11.19	豊後2階	女	75	4	骨折事故	排泄介助や、移乗時に負荷が掛かり恥骨骨折。	①完治するまでは離床はリクライニングにて対応し、バスタオルを使用し二人介助にて行う。 ②同様の危険性がある顧客について、部署職員間で検討し個別ケア記録を残すことでモニタリング・サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか継続的に確認しながら取り組んでいく。
H27.1.8	訪問入浴	-	-	-	車輛事故	利用者宅駐車場のブロック塀に車両を接触。	①運転者は左右の確認を行い、障害物の把握を行う。障害物等の確認ができない時は、運転者が車輛から降車して目視確認を行い、車輛を移動させる。 ②車輛を後退させる時は、他職員が降車して誘導する。障害物等を運転者に報告し、運転者は確認後に車輛を移動させる。 ③初回訪問する職員は駐車位置等の確認を前回訪問した職員に確認し、把握する。
H27.2.20	豊後3階	女	87	5	骨折事故	トイレ誘導時、左下肢に負荷が掛かり骨折。	①加齢と共に進行する可動域制限や骨粗鬆症について、充分理解し、適切な介助方法の検討を行う。 ②同様の危険性がある顧客について職員間で検討を行い、個別ケア記録を残す事でモニタリング、サービス計画に反映させる。 ③部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているか検証を行う。 ④退院後、本人の状態に応じたサービス計画を策定する。 ⑤今後の介助方法や援助方法の検討を部署内で行う。 ⑥同様の危険性がある顧客について職員間で検討を行い、個別ケアの危険性に記録する。
H27.2.24	3丁目1番館	女	100	3	骨折事故	ベッドから歩行器にかまって立ち上がる際に右大腿骨頸部骨折。	①サービス計画に準じたケアの提供を行なっていくことで、類似の事例発生が予防出来るように取り組んでいく。 ②部署会議時に改善計画及び再発防止策の進捗状況について確認を行ない、適切に実施出来ているかの精査を継続的に行なっていく。 ③骨折による状態変化について、状態観察を行なった上で個別ケア記録の入力を実施し、サービス計画の立て替えを行う。 ④類似の危険性のある顧客について部署内で精査し、その旨を個別ケア記録に入力する。

介護事故他

発生日	発生部署	性別	年齢	介護度	事故の区分	不適合の内容	改善計画・対策
H27.3.5	5丁目1番館	男	88	3	骨折事故	夜間、ベッドから立ち上がり転倒し、腰椎圧迫骨折。	①今後の状態変化に応じてサービス計画の立て替えを行う。 ②部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、実施出来ているかの検証を行う。 ③サービス計画に沿った対応を行う事で、再発防止に取り組んでいく。 ④同様の危険性がある顧客について職員間で検討を行い、個別ケアの危険性に記録する。
H27.3.11	2丁目1番館	男	97	3	転倒事故	自力にてトイレに行こうとした際に居室内で転倒し頭部打撲。右前頭葉脳挫傷。	①退院後、本人の生活パターンの分析・検証を実施し24時間シートに反映する。特別なケアを必要とする項目については、状態に応じたサービス計画を策定する。 ②部署会議にて改善計画の進捗状況を確認し、確実に実施出来ているかの検証を行う。 ③退院後、本人の状態に応じたサービス計画を策定する。 ④同様の危険性がある顧客について職員間で検討を行い、個別ケアの危険性に記録する。